

灯 (あかり)

『汗を流して、未来を拓く』

令和5年6月15日(木) 第5号

文責：校長 森下 隆司

梅の実採り

天候不順により 2 回の延期を伴いましたが、雨天の合間を見ながら5月31日の午後に実施しました。実施が伸びたことにより梅の実の状態があまり良くなかったのですが、鈴なりに実った梅の実を喜んで収穫する子供たちの表情は、とってもかわいいものでした。旧平成小学校の学校行事として行ってきた梅の実採りですが、学校沿革史に記録が残っている情報では、昭和 47 年に記念として植樹した梅の木があるようです。梅の木の様子を見ると、もしかしたらもっと歴史の古い学校行事なのかもしれません。子供たちが玉之浦の歴史をしっかりと受け継いでくれたことも、貴重な経験であると感じています。

活動の前には、梅の実採りに対する注意事項を、3, 4年生がわかりやすく説明してくれました。注意事項をポスターにまとめて示してくれたため、とてもわかりやすいお知らせでした。梅の実の収穫時には、高学年の子供たちが「梅採り棒」を使って枝を引っ張り、低・中学年の子供たちが収穫しやすいお手伝いをする優しさも見られました。今年は実の付き方が少ない「裏年」でしたが、収穫を予定していた梅の木には鈴なりに実が付いており、十分な収穫量を得ることができました。

体育館に戻り、梅の実の選別と袋詰めを行いました。今年は販売をしなかったので選別自体もそれほど気を遣うこともなかったのですが、子供たちは大きさや傷の具合を一つ一つ丁寧に確認しながら選別作業に取り組みました。袋詰めは 1 袋に1kgを詰めるのですが、思い思いに梅の実を詰めた子供たちは梅の実を詰めた袋を秤に乗せ、「多すぎた〜」「ちょっと足りない、あと〇個くらいかなあ」などと、楽しみながら作業を行う子供たちの姿が印象的でした。

天候に左右されたたびたびの延期としたことにより、事前の準備物の対応で大変ご迷惑をおかけしましたが、各ご家庭でのご対応により子供たちが楽しい活動を行うことができました。また、急な予定変更にも関わらず、民生委員さんの方々、保護者の方々にご協力をいただいたことにも感謝しております。ありがとうございました。

